

ふるさと歴史散歩 237

～松前史談会レポート～

伊豫岡八幡神社と周辺巡りⅢ

伊豫岡八幡神社を後に、伊予市灘町に向かう。

到着した所は、本瓦の大屋根に千鳥破風や格調高いうだつがある宮内小三郎邸である。幕府の巡見使や伊能忠敬測量隊の本陣を務めた代官所のような主屋は元文3(1738)年のもので、現在、まちの縁側「ミューゼ瀨家」という名の「まちづくりの文化拠点」となっている。

松山領主加藤嘉明は、寛永4(1627)年、城の完成を目前に会津に転封となる。次の領主に蒲生忠知となり、二之丸を完成するも参勤交代の途上、京都で病没した。跡継ぎがなく、蒲生家は取りつぶしに。そのため寛永12(1635)年、松山領は一時大洲領預かりとなった。当時の大洲領主が、飛び地解消のため領地交換を幕府に申請して許可を得た。大洲領になった伊予市米湊村の海岸の開拓を申し出て領主の許しを得たのが、上灘出身の宮内九右衛門と清兵衛の兄弟であり、これが伊予市郡中の起こりとなったのである。ここは、郡中を発展させた宮内九右衛門直系の子孫の邸宅である。

今回は、伊予市灘町宮内邸を守る会事務局長の門田真一氏に説明をお願いした。海岸にあった松を再利

用した巨大な梁を見上げて主屋の外へ出る。普段入れない奥の隠居(数寄屋普請の名建築)、古隠居の外観や珍しい八角形の井戸の見学ができ、参加者は貴重な時間を共有することができた。ところで、前回の問題の答えは「運動会」でした。いかがでしたか。次号に続く。(宮内祐記)
【参考文献】『いーよ ぐるっと 88』発行・編集／伊予市観光協会



1 ミューゼ瀨家 中央の千鳥破風や左端の「うだつ」が往時の繁栄を物語っている。「うだつ」は防火壁として作られるが、費用がかかるため余裕がないと作れなかった。「うだつが上がない」とは、いまひとつ状態がよくないことをいう



2 宮内家宅の隠居 数寄屋造りの立派な建物で、各所に手の込んだ造作が見られ、家の間取りや建物の位置関係を示した家相図など古い絵図も現存している。「宮内家住宅」の保存・活用のため、守る会が中心となり調査研究していた江戸期の資料約900点の文書をまとめた目録が、昨年12月に出来上がった

2月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館 だより

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

東公民館 毎月順番に活動内容をお届け！ 坊ちゃん劇場 完熟・一期公演



⑥劇団員による迫力のある演技
⑥熱心に見入る参加者

12月10日、本年度もシニア大学の講座の一つとして、文化センターで三公民館合同の完熟・一期公演を開催しました。

演目は、「なんじゃもんじゃ」です。笑いあり、感動ありの公演に、会場の誰もが夢中になっていました。

参加者からは、「毎年の楽しみ。また来年もよろしくね」「『人生の中で今日が一番若い』という内容に元気づけられた」という声がたくさん。

シニア大学では、これからも地域の皆さんが楽しく元気に活動できる講座に挑戦していきます。ぜひご参加ください。

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140
FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆2月の休館 28日◎

おはなし会
15日◎
11時～

文化センター
2階ふるさと学習室

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶桜が散っても
森沢明夫・著
幻冬舎



趣味の釣りをきっかけに、週末を桑畑村で過ごすようになった忠彦。しかし、自身の勤める会社がその村でリゾート開発を進めていると知り、忠彦と家族の運命は大きく変わっていく

▶友が、消えた
金城一紀・著
KADOKAWA



高校生の頃、仲間たちと社会の不条理に立ち向かっていた南方。高校卒業を機にチームは解散し、大学生活を送っていたが、友達がなくなったと相談を受け、一人立ち上がる。「ザ・ゾンビーズ・シリーズ」13年ぶりの新刊

▶撮ってはいけ
ない家
矢樹純・著
講談社



「家にまつわる呪い」のロケのため山梨の旧家で撮影を進める杉田。フィクションの企画のはずだが現実との奇妙な共通点に気付く…。メフィストで連載された、伏線回収ホラーミステリー



▶ライバルはいるか?
金間大介・著
ダイヤモンド社

現代では「みんな仲良く」が正義とされているが、誰かと競うことは本当に「悪」なのか。競争を通じて得られる価値を1,200人のライバル実態調査から解明する



気持ちが沈んでしまった夜にたどり着いたのは、星空に佇む「喫茶星屑」。店主の女の子から手渡された砂糖菓子のレシピは甘くて優しく、心の傷を癒やしてくれます

▶星のみえない
夜は砂糖菓子
につつまれて
まつざきお
り・著
オーバーラップ



▶自分のあたり
まえを切り崩す
文化人類学入門
箕曲在弘・著
大和書房

「私とは違う誰か」と生きるための文化人類学入門。自分にとってのあたりまえが、実はあたりまえではなかったと気付く、身近な問いから「文化」を考える1冊